

活 汲 村 物 語

NO. 33

活汲村物語～津別町活汲 in 津別消防団「新第2分団詰所」

平成29年美幌・津別広域事務組合、津別消防団『新第2分団詰所』が国道240号線沿い活汲中央旧活汲小中学校グラウンド跡地に新築された。津別消防団第2分団は分団長 溝渕 成能氏 以下 22名の団員で構成され、地域の安全・安心・防災に活躍すると共に、地域の担い手でもあります。これからも活汲のシンボルとなり、私達を見守って頂きたいです。

写真左は昭和31年建築の庁舎、右は平成29年建築の新第2分団詰所。



私設活汲消防組 昭和初期は村財政の未熟な時代であったから、まず地域住民の合意と物心両面の協力で、「私設消防組」を発足させ、それを育てることにより時宜を得て公設にという手順が踏まれた。

相生線鉄道の開通による産物の集散の活発化で市街地と周辺集落が形成されたことから、昭和3年に部落全戸が加入して火防組合が結成され、それは実質的に後援会の機能を持ち、その組合の中に消防班が設けられた。組員25名で、腕用ポンプを購入し、青年会館の玄関脇に格納庫を仮設しての発足であった。同8～9年頃美幌から金輪四輪ガソリンポンプを40円で払下げを受けて備え付けた。

「腕用ポンプ」は、これは組員がワッショイワッショイの掛け声も勇ましく火災現場まで引っ張って行き、四人がかり（二人ずつ二組が対面）でシーソー式の柄を押しながら放水したもので、きわめて前近代的なものであった。

やさい歳時記● ネットショップ店「ヤナセ農園」が営業中。

「ヤナセ農園ホームページ」に作業風景や日々の出来事・地域に寄せる思いなどをお知らせしたく公開しています。

津別町ふるさと納税お礼の特産品にヤナセ農園『ふるさと便野菜「活汲村物語」シリーズ』が掲載されています。

新鮮な旬の野菜を皆様にお届けします。
親戚や友達にお歳暮セットを送ると故郷の風景を思い出し、喜ばれますよ。

検索は、**ふるさとチョイス**〈**北海道**〉**津別町**で閲覧できます。(写真は⑦お歳暮セット)

URL <http://www.yanase-nouen.com/>

検索には「ヤナセアスパラ」で。

E-mail tubetu@yanase-nouen.com

